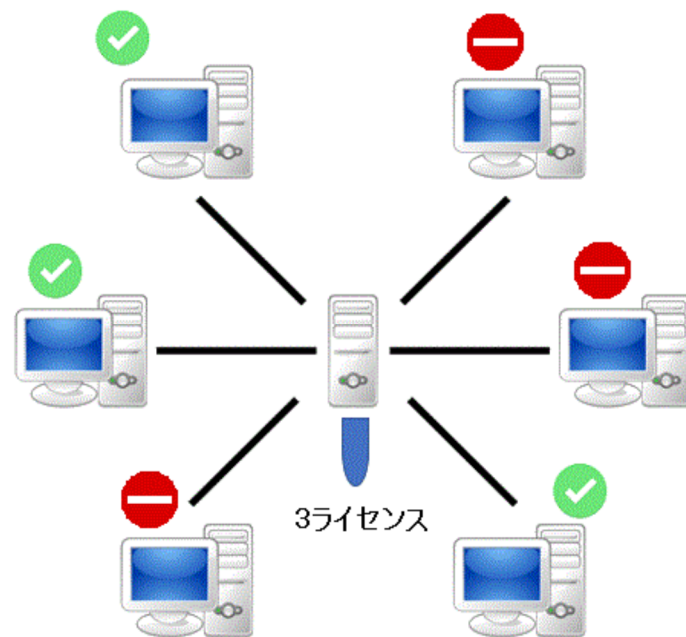


dongleを利用した ネットワークライセンス認証



クライアント側プログラムの同時起動数を
サーバ接続dongleで管理

PCプログラムのライセンスをサーバに接続したdongleで管理できます。

- ユーザに付与するライセンス数はdongleハードウェアに保管
- dongleを接続するサーバでライセンス管理
- MxNet2 ライセンス管理サーバ(ソフト)がクライアント要求に応答
- 応用プログラムは MxNet2 クライアントAPI でライセンス確認

TCP-IP ネットワーク対応、サーバ/クライアント間インターネット介在可能

プログラム保護方法は、クライアントAPIの応用プログラムソースへの埋込、もしくは、実行ファイルの自動プロテクト

有限会社リビグ

〒233-0002
横浜市港南区上大岡西1-12-2

電話: 045(843)7122
FAX: 045(843)7142
E-Mail: matrix@ribig.co.jp
WEB: https://www.ribig.co.jp/matrix/remote_api

セキュリティ専用USBキー

ライセンス情報はセキュリティUSBキー内部の安全に保管。コピーの心配はありません。USBキーを接続する際のサーバでもライセンス管理が可能。HID対応のため手間は導入処理は不要、接続するだけで利用を開始できます

MxNet2サーバ動作監視

ライセンスサーバの動作を監視サーバプログラム付属。ライセンスサーバから応答がなければ、再起動を試行します。それでも応答がなければ、警告音を鳴らします。

ネットワークセキュリティ

サーバー/クライアント間はTCP-IP ネットワーク。データは、ECDH(楕円曲線DH)プロトコルで鍵交換、AESで暗号化されます。

EXE自動プロテクト

オプションで実行ファイルを自動プロテクトするツールを提供します。暗号化保護された実行ファイルは、ライセンス管理サーバからライセンスを取得できなければ起動しません。起動中にライセンスを保持できなければ強制終了します。

*プログラム終了を知らせるブロードキャストメッセージ送出コード(2行)追加が必要です

| | |
|--------------------|---|
| MxNet2サーバ | 32ビット版 & 64ビット版 アプリケーションプログラム / Windowsサービスのどちらかでも実行可能 |
| クライアント API | 32ビット版 & 64ビット版 Matrix API 互換 (完全互換ではありません) |
| サーバ/クライアント通信 | TCP-IP ECDH (鍵交換)、AES256(データ暗号化) |
| 保護可能アプリケーション数 | 10 (クライアントからの同時アクセスにサーバが処理可能な範囲) |
| 最大ライセンス数/アプリケーション | 機能的な制限なし (クライアントからの同時アクセスにサーバが処理可能な範囲) |
| セッションタイムアウト | サーバがクライアントとのセッションを自動放棄する時間は、任意の時間を設定可能 |
| ログインタイムアウト | 活動がないクライアントを自動ログアウトする時間は、任意の時間を設定可能 |
| サーバ 待受 IP/ポート | 任意に設定可能 |
| クライアント 側 IP/ ポート指定 | サーバ IP/ポートは、設定ファイル設定データを自動読込、または、APIで指定可能 |
| EXE暗号化エンジン | 指定製品のライセンスを別途取得(32ビット, 64ビットそれぞれ必要分を取得要) |